

競技上の注意と確認事項

1 競技規則

本大会は、平成30年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則によって行う。

2 競技会場

- （1）競技会場・コートのはさは、以下のとおりとする。
 - 福岡大学第二記念会堂（40m×20m：2面）
 - 福岡県立スポーツ情報科学センター（36m×20m：2面）
- （2）別紙「会場使用上の注意」を遵守して行動する。

3 種別及び参加人数

参加人数（ベンチ入り）は、役員4名以内・選手16名以内の合計20名以内とする。

4 競技方法

競技方法は、トーナメントを行い、敗退チームが代表決定戦を行う。

5 参加資格

参加資格は、実施要項のとおりとする。臨時トレーナーについては、別に定める。※16参照

6 競技日程・時間

- （1）競技日程は、プログラムのとおりとする。
- （2）競技時間は、「前半25分－休憩10分－後半25分」とする。なお、同点の場合は延長戦を行う。ただし、第1延長戦のみである。
【トス～第1延長（前半5分－休憩1分－後半5分）～7mTC（5名）】
- （3）競技時間の表示は、加算式の電光表示板を使用する。
福岡大学第二記念会堂・福岡県立スポーツ情報科学センターともに、卓上デジタルタイマーとする。
- （4）競技終了やチームタイムアウトの合図は、ブザー・ホーン、または笛で行う。
- （5）①退場者の番号や時間は、全会場ともに卓上デジタルタイマーで行うので、記録席上に掲示する。
②入場の判断は、チームの責任である。記録席から合図することはなく、問いかけられても回答しない。

7 大会使用球

大会使用球は、（公財）日本ハンドボール協会検定球を使用する。
○男子・女子：両日モルテン（ヌエバ X4000 H2X4000）

8 トス・ユニホーム

- （1）トスは、ユニホーム確認の際に記録席前で行う。立ち合いは、チーム役員・選手のいずれでもよい。その際、チーム役員の服装（色）及び臨時トレーナーの有無についても確認する。※11（5）、16（1）
- （2）ユニホームの確認は、第1試合は試合開始30分前とし、第2試合以降は、前試合の前半終了直後、記録席前で行う。ただし、休憩確保のために試合間が長く空く場合は、試合開始30分前とする。その際、試合に着用する全ての種類のユニホームを持参する。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更する。
- （3）ユニホームについては、下記のとおりとする。条件に満たない場合は当て布等で覆わなければならない。その色はユニホームと同色でなくてもよいが、チーム全員が同色とし、同じデザインにする。
 - ① 番号の大きさ（高さ）は、胸10cm以上・背20cm以上とする。
 - ② 基調色として、半分以上が同色でなければならない。例えば、左右上下対称色を用いたものは認めない。
 - ③ メーカーのロゴは、20cm²以内の目立たないものとする。サポーター等も同様とする。
 - ④ 背中に氏名等の文字表記をする場合は、大きさ（高さ）10cm以内とする。
 - ⑤ 試合中にユニホームが破損したり、血液が付着したりして、競技を続行できない時は、別のユニホームに着替えなければならない。その場合、異なる番号でも問題ない。交代地域にいる別のプレイヤーのユニホームと交換することも許される。
 - ⑥ チームは、ユニホームとして、シャツ・パンツ・ソックスの色を統一すること。なお、ソックスは、色が揃っていればよく、メーカーのロゴなどは問わない。

(4) ゴールキーパー

- ①チームで同色とする。
- ②コートプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合は、登録された同じ番号でなければならない。
併せて、登録されたゴールキーパーと同色のユニホームを着用することは許される。

(5) 身につけられるものについて

- ①短パンツの下に着用するサイクリングパンツ（アンダーウェア）の着用は許可される。
しかし、短パンツの基調色か同色とし、チームで統一していなければならない。
- ②ユニホームの外にアンダーウェアが出る場合があっても、立っている状態で見えなければ正さなくてよい。
- ③サイクリングパンツ・コンプレッションパンツ・ロングスリーブ等を着用する場合は、ユニホーム及び短パンツに使用されている基調色と同色であること。しかし、アンダーウェア・短パンツは基調色を原則とする。ユニホーム・短パンツの一部に使用している色を着用する場合は、チームで統一した色のアンダーウェア・サイクリングパンツを着用することが関係役員に承認されれば使用できる。
- ④複数の部位を覆うサポーター等やメーカーのロゴが20cm²以上ものは着用を認められない。
- ⑤金具入り等、敵味方を問わず他の選手に危害を与えるものについては、その着用を認めない。
- ⑥眼鏡及びスポーツゴーグル等を使用する際には、固定バンドの装着を必要とする。
ただし、金属製のフレーム等については使用できない。
- ⑦詳細は、「JHA保護を目的とした装具」を参照すること。

(6) 眼鏡・スポーツゴーグル

眼鏡及びスポーツゴーグルを使用する際は、固定バンドの装着を必要とする。
ただし、金属製のフレーム等については使用できない。※8-(5)-⑦

9 登録証・公認資格証とチーム役員・選手の確認

- (1) 代表者会議で決定し、登録証のあるチーム役員・選手のみが競技に参加・出場することができる。
- (2) 交代地域には、チーム責任者1名を含むチーム役員4名以内、選手16名以内の合計20名以内が入ることができる。
- (3) チーム役員・選手の変更については、代表者会議で確認・決定する。
- (4) ①トスの際には、TDに登録証を提出する。
未提出、または不備（写真添付なし等）があった場合は、試合に出場・参加することはできない。
②TDが試合前に交代地域にて、チーム役員・選手及び登録証を確認する。
試合中は、TDが登録証を管理し、試合終了後にTDから両チーム代表者に返却される。
③失格したチーム役員・選手、または、裁定委員会に提訴されるチーム役員・選手には、その場で返却しない。
- (5) チーム役員は、試合中に大会主催者が準備した「A・B・C・Dカード」を着用し、試合終了後に返却する。
チーム責任者は、「Aカード」を着用する。

10 公式記録用紙

- (1) 記録は、公式記録用紙とランニングスコア記録用紙を併用して行う。
- (2) チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙に記載されている「役員氏名・カード、選手氏名・背番号」を責任を持って確認し、サインをする。
- (3) 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11 交代地域 ☆交代地域：「3.5mラインから、センターラインから12mの範囲まで」

- (1) 各チームのボール等の用具は、競技開始前にケース等に収納して交代地域内にて管理する。
競技開始後は、ボールに触れることを含めて、ボールの使用は禁止する。
- (2) 飲料水は、飲み口の細い容器を使用し、コップの使用を禁止する。
- (3) 交代地域では、あらゆる通信機器の使用を禁止する。
- (4) 試合中、選手が交代地域内で簡単な準備運動をすることは認める。
ただし、ボールの使用やコート内への指示・応援、立位のままで観戦することは不可とする。
- (5) チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーと異色の服装でなければならない。
トスの際にユニホームの色が確定した後に、役員の色を確認する。
- (6) チーム役員は、原則として座っていなければならない。
ただし、チーム役員1名のみが、戦術的な指示や治療を目的として、交代地域の範囲内で動くことは許される。

12 チームタイムアウト

- (1) チームタイムアウトは、1試合で3回請求することができ、前後半にそれぞれ最高で2回まで請求することができる。また、試合の後半残り5分間は1回しか請求できず、延長戦は請求できない。
- (2) チームタイムアウト請求カード(グリーンカード)は、チーム役員だけが提出することができる。
請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア(3.5m)を越えたらグリーン

カードを提出しなければならず、躊躇することは許されない。

ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時があるので、その場合は、グリーンカードをチームに戻す。

(3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかななければならない。請求する時のみ、持つことが許される。

(4) グリーンカードは、TD等が直接受け取ってよい。

13 休憩時間（ハーフタイム）のコートの使用

休憩時間のコート使用は、次の試合のチーム練習に使用する。

ただしコートの使用時間は、「8分」とし、後半開始までの残りの2分間は、コート整備等の時間とする。

14 O・TD, TD, 裁定委員会

(1) 本大会は、各試合にO・TD（オフィシャルテクニカルデレゲート）1名とTD 2名の計3名を配置する。

O・TDとTDは、競技委員長のもとで競技役員として各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するため審判員・全競技役員・補助員と協力して試合を管理する責任者である。

(2) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長とする。

なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日中に裁定して関係者に通知する。

15 次の試合のチーム役員・選手のフロアへの入場

次の試合のチーム役員・選手は、前半が終了するまで、または試合終了後に両チームの挨拶が終了するまでは、フロアへの入場を禁止する。

競技中に次試合の選手が、フロアで練習をしたり、試合を観戦したりすることがあってはならない。

16 臨時トレーナー

(1) 臨時トレーナーとは、役員登録をしていない公的資格を有するトレーナーを指す。

トスの際には、必ずTDに申告する。席は、交代地域から離れた場所に設置する。

(2) 臨時トレーナーは、交代地域やコート内に立ち入ることや応援・指示はできず、自席での対応のみとする。

選手は、一時的に交代地域から許可なく離れ、臨時トレーナー席で治療等を受けることができる。

(3) TDが、試合開始前にトレーナーである資格証の提示を求める場合があるので準備しておく。

17 表彰

各会場で、下記の要領で行う。

(1) 競技第1日

女子の準決勝終了後に第3位表彰を行う。

(2) 競技第2日

最終試合（男子決勝）終了後に表彰を行う。男子の上位4チームと女子の上位2チームが参加する。

18 感染症・熱中症対策

大会期間中はうがい・手洗い等、予防策に十分配慮する。発熱した場合は、医療機関を受診する。

なお、健康上異常がある（あると思われる）時は、必ず大会本部に連絡する。

併せて、大会期間中は試合中・練習中はもとより、生活全般で体調管理に留意する。

19 危機管理

各チーム・各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備える。

20 試合の開始と終了

開始時は、選手全員が交代地域から横1列で入場して、あいさつをする。

終了時は、コート中央に横1列で並んであいさつをし、その後、相手チームとすれちがいがながら挨拶を交わし、相手側交代地域に行き、相手役員にあいさつをする。

21 観客席のマナー

今大会は、中学生が学校卒を超えて県選抜チームとして対戦する大会であり、教育活動の一場面でもある。参加各チーム役員は、観客席からの選手への指示や競技役員への暴言等が絶対にならないスポーツマンシップに則った大会になるよう観客席（応援）の態度にも気を配る。